

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第36号

古牧だより通算130号

第30回 防火・防犯ポスター 審査会・表彰式開催

8月28日(日)に各地区において入選された、230点の作品の中から、古牧地区内の審査員64名にて厳正に審査し、防火ポスター9点、防犯ポスター9点が選ばれました。

9月11日(日)は、先に審査会において入選された18名の皆様に、表彰状が授与されました。

席上、消防団制作による、人と人との絆、地域の絆、支え合いを大切にとの願いを込め

たビデオ「絆」が上映されました。

各賞の授与が終わった後、受賞者を代表し金井朋佳さんが盛大な表彰式に感謝するとともに、この防火、防犯ポスター事業を、後輩達にもしっかり伝えていきたいとの、お礼の言葉がありました。

長い間この事業を推進してこられた役員の皆様、大変ご苦労様でした。



平和への願い おごそかに全戦没者追悼法要を

9月27日(火)南高田「西光寺」境内において、古牧地区全戦没者追悼法要が営まれました。

秋空晴天のなか、ご遺族、ご来賓、役員等関係者約50名が参列し、読経のなか遺族会を

代表して、井原七郎古牧地区遺族会会長が「平和への願い」を述べられ式典を終りました。



※全戦とは過去5つの戦争

市民会議開催のお知らせ

元気なまちづくり市民会議を開催します。
住み良い古牧地区づくりのため、皆様のご意見等を市長さんと話してみませんか？

日時 11月23日(祝) 午後2時から
場所 古牧公民館集会室
内容 ・ 鷺沢市長講演
防炎体制の整備
・ 前年度課題の経過説明
・ 自由討議
その他 託児があります。

視察研修

彩の国 資源循環施設を視察

環境美化部

環境美化部では10月25～26日に視察研修を行いました。25日は、埼玉県大里郡寄居町の「彩の国資源循環工場」を視察しました。約100haの県営最終処分場内に、埼玉県が民間資金の活用及び借地方式により、先端技術を有する民間リサイクル8施設を誘致しており、そのうちの3施設を見学しました。(株)環境サービスは、廃プラスチックから固形燃料・生ごみ等から堆肥を製造しています。(株)埼玉ヤマゼンは焼却灰を1,000度で焼成という処理により人口砂にリサイクルし、下層路盤材等に有効活用しています。(株)エコ計画は廃プラスチック、紙くず、木くず等多種類の廃棄物を受け入れ、有機肥料化や固形燃料化に取り組

んでいます。各社とも受け入れた廃棄物を90%以上再資源化しているものです。

26日は前橋市役所を訪問し、ごみの分別や地区役員の仕事等について説明を受けました。前橋市では、紙リサイクル運動を展開しており、29の市有施設に紙リサイクル庫があるとのこと。市役所のあと、下新田自治会の「わが町リサイクル庫」を視察し、自治会長さんから紙類の回収の取り組み等について話を聞きました。約1,000世帯あり、22年度の回収量は34tということでした。今回の視察研修で、携わっているそれぞれの立場の人から話を聞くことができ、今後の参考になりました。



安全部研修

吉田地区と「子どもを守るパトロール」で情報交換

10月15日(出)10時から安全部研修会が吉田「ノルテながの」において、「子どもを守るパトロール活動」をテーマに、吉田地区住民自治協議会と情報交換を行いました。安全部からは、安全部員・主任防犯指導員など19名が参加しました。

初めに古牧地区から、

- ①古牧地区子どもを守るパトロール活動
- ②西和田地区防犯パトロール
- ③青色灯整備車によるパトロール活動
- ④学校と地域で子どもを守る古牧地区連絡会について報告がありました。吉田地区住民自治協議会からは15地区の「大いちょうパトロール隊」の活動について報告があり、質疑討論に入りました。特に「西和田地区・青色灯整備車」の活動



に多くの質問が寄せられ、研修会を終わりました。

秋空の下 たのしくウォークラリー

10月16日(日)第24回ふれあい教室が古牧小学校を会場に参加36チーム、530人で行われました。当日心配された雨も朝



方にはすっかりあがり、素晴らしい秋空の下、子どもからお年寄りまでたくさんの地域の方々に参加していただきました。午前中に行われたウォークラリーは、約3kmのコース中で各チームが一体となってチェックポイントを目指しました。みんなで協力してクイズに答えたり、ゲームをしたりしながら交流を深める姿が見られ、地域の中で新たな発見をする場にもなったようです。昼食のカレー作りや午後に行われたふれあいレクリーションも大変盛り上がり、まさに「ふれあい」の場となりました。

保健補導員研修

ハイテクな味噌作り工場を訪問

保健補導員の皆さんが中心となり、味噌作りで有名な「マルコメ」さんを訪問し、味噌の歴史や作り方、健康に対する味噌の働きなどを学びました。

オートメーション化による味噌作りで、米や豆の洗浄・蒸すことから製品として出荷されるまで全ての工程が自動化され、1分間に120個のマルコメ味噌が作られていることは驚きでした。

温度管理や製品の品質管理などもシステム化され職員の人数が少ないと感じました。

味噌は私達日本人の食卓には欠かすことのできない食品です。

味噌は、栄養補給は勿論ですが、成人病予防にも様々な効果があることが科学的に解明されてきているということでした。

味噌汁を飲むことで胃潰瘍など胃病にかかりにくいとか、原材料が大豆であることからコレステロールの除去にも効果的だということです。煙草のやにを洗い流す力があることも学びました。

また、味噌汁は老化防止にも良いと聞きました。味噌汁をいただき元気で長生き、健康的な食生活を



したいものです。但し、塩分の取り過ぎに注意したいものです。

芸術の秋 スポーツの秋 盛大に！！

櫻ヶ岡中学校 白櫻祭 (9/30・10/1)



最高の仕上がりとなった、191名による3学年合唱



体育館命名

おうぶかん 櫻舞館 と おうしょうかん 櫻翔館
生徒から募集した新しい体育館名です

東部中学校 (9/30・10/1)



玄関アーチ

仮装記念写真



三陽中学校 れんげ祭 (9/30・10/1)



1年生の発表会



音楽会

南部小学校運動会 (9/17)



6年生 組体操「絆」

信頼という絆で、七段の塔が見事にできました

1年生 玉入れ

小さなカゴに入れるのはむずかしいな



第39回 少年少女球技大会開催

10月2日(日)ドッジボール大会が古牧小学校で行われました。高学年優勝、中村・五分一チーム、2位、平林・北条・西和田チーム、3位、東和田チーム。低学年優勝、東和田チーム、2位、JRチーム、3位、中村・五分一・西尾張部・南高田・南長池チームでした。



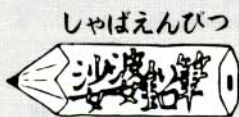
高学年チームの白熱した試合では、応援に来ていた保護者の方々もとても盛り上がっていました。低学年チームもとても一生懸命ボールと向き合っていました。

10月9日(日)、更北グラウンドにおいて、野球大会が行われました。晴天に恵まれ、気持ちの良い秋晴れの中、試合が行われました。

平林チームのキャプテン、玉城莉吾君の選手宣誓により始まったゲームは、上高田チームが優勝しました。2位は南長池、3位は西尾張部でした。



四季の変化を楽しみつつ、新鮮な出会いに思いを馳せて、「そうだ。散歩を再スタートしよう。」と心に決めました。寝たきりにならないためにも！
(宇都宮英子)



どんぐりと散歩

朝の散歩から帰ると、夫はポケットから二、三ヶのどんぐりを出してテーブルの上に置く。それは、大きな橡の時の時もあります。
愛犬が亡くなってからさっぱり散歩をしない私は、「どこで拾ったの?」「まだいっぱいあったの?」などと聞く。先日、中三の孫がひょっこり立ち寄り、竹細工のかこの中に集めておいたそのつややかなどんぐりを見て、「わあー、どんぐり。」「もらっていく。」と、うれしそうに何個か持って行きました。
以前、愛犬と共に近くの守田神社に歩いて参詣に行った帰りに、道に落ちて車に轢かれ、つぶれてしまったどんぐりの無残な姿に胸が痛んだこと。近くの園児たちが、「あっ、ここにも。」「こっちにも。」と賑やかに歓声を上げて神社でどんぐりを拾っていたことなどを、ふと思い出しました。

古牧ドッジボールクラブ設立十周年

監督 伊藤 一之

去る8月27日(土)に古牧ドッジボールクラブ設立十周年記念大会、記念式典を挙行了しました。



昨年の11月20日に準備会を行い、OBならびに保護者会OB、現役の保護者が集まり組織作りからスタートしました。過去9年間で75名の卒団生がおりますが、その3分の2のOB保護者が参加してくれたことに、ドッジボールにかけた熱意を感じました。また、住民自治協議会、PTA、地域企業、そして参加してくれた県内チームのご協力もあり、記念大会、記念式典とも、盛大に開催できました。ご協力に心より感謝申し上げます。

これからもドッジボールを通し子供たちの健全育成を目的に古牧ドッジボールクラブは活動していきます。よろしくお願いいたします。

事務局職員に室伏めぐみさんが交代



長く勤務された、早川千浪さんの代わりに、室伏めぐみさん(西尾張部)が勤務されました。

事務局体制は今までどおり二人で、毎日事務室は開いています。

古牧地区の世帯数と人口

23年11月1日現在

10,529 世帯

26,101 人

(男 12,890人 女 13,211人)

古牧地区住民自治協議会のホームページアドレス

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~komakij/>

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷